

弾道ミサイルが発射された場合の対応について

1 Jアラートによる緊急情報の発信について

ミサイルが日本に向けて発射された場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音と共にメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信される。

メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとること。

(1) 登校前

- ・緊急情報の内容を確認し、通学の安全が確保できないと判断したら自宅で待機する。
- ・自宅待機中はメディアからの情報収集に努め、安全が確認されたら登校する。

(2) 在校時

- ・教室では、机の下に身を隠し、頭部を守る。爆風による被害を防ぐためできる限り窓から離れる。
- ・校庭など屋外にいる場合はいち早く校舎等の中に避難し、部屋の中央付近で身を守る。

(3) 登下校時

- ・屋外にいたらすぐに近くの建物や地下などに避難する。
- ・屋内にいたらできる限り窓から離れ、身を低くする。
- ・電車、バス内にいたら身を低くし頭部を守るとともに冷静に車掌や運転手の指示に従う。

2 付近にミサイルが着弾したとき

- ・屋外にいたら口と鼻をハンカチ等で押さえ、身を低くする。落ち着いて外気を爆風の影響を受けにくい建物、部屋に移動する。
- ・屋内にいたら窓を閉め、窓から離れる。
- ・メディアからの情報収集に努め、慌てず次の行動に備える。

3 落下物らしきものを発見したとき

- ・校内の場合は付近の生徒に近寄らぬよう呼びかけ、すぐに教員に連絡する。
- ・校外の場合はいたずらに近寄ることなく、警察もしくは消防に連絡する。